

クラブ活動報告

地域に密着した活動(地元5高校)へ助成金

田辺ロータリークラブ

田辺ロータリークラブ(会長 長井 保夫)は、10月22日、地域に密着した活動への支援として、地元の5高校の活動に対し、助成金を贈りました。

この活動は、青少年奉仕活動として、毎年、未来ある青少年の活動を支援するため取り組んでいるもの。

今年も、応募・審査を経て、県立田辺高校・神島高校・田辺工業高校・みなべ高校・熊野高校の5高校の学生の地域に密着した活動に対して、それぞれ、10万円の助成金を贈りました。



南部高校の神藤恭光校長(左)に助成金を手渡す
田辺ロータリークラブの長井保夫会長=22日、みなべ町芝で

田辺ロータリークラブ(長井保夫会長)は22日、地域に密着した活動への支援として、みなべ町芝の南部高校に活動助成金を贈った。

同クラブが毎年取り組んでおり、今年も応募を審査した上で田辺、神島、田辺工業、熊野、南部の5高校にそれぞれ助成金10万円を贈ることにした。

同日は長井会長や幹事、青少年奉仕委員会委員長が同校を訪れ、神藤恭光校長に助成金を手渡した。

長井会長は「未来ある青少年の活動を支援することが、われわれロータリークラブの活動の柱にある。生徒たちにたくさんの経験や挑戦をしてほしい。少しでもあるが、皆さんの活動のお役に立てている。」と話した。

地域密着活動を支援

南部高校に助成金

田辺ロータリークラブ

ただければ」と話した。

神藤校長は「ありがたいです。大切にに使わせていただきます」と感謝した。助成金の使途は、食と農園科の販売実習の際に使う、仕切りのテープ付きボールやのぼりの購入に充てる。

10月23日 紀伊民報 掲載記事